

本市におけるこれまでの行財政改革の取組

令和元年 8 月
射水市人事課行革推進班

行財政改革に取り組む背景

射水市を取り巻く現状

地方分権の時代の到来
少子高齢化・人口減少社会の到来
厳しさを増す財政状況

自己決定、自己責任自治
税収の減少、社会保障費の増加
普通交付税の一本算定、基金の取崩し

社会環境の変化に対応しつつ、地方自治体としての自主性・自立性を高めて、魅力ある施策の展開と多様化する市民サービスを提供していくためには、
健全な財政を維持することが必要不可欠

組織機構の簡素化、事務事業の見直しなどの行財政改革が必要

これまでの取組

行財政改革大綱
(平成18年12月策定)

行財政改革集中改革プラン
(平成19年2月策定)

第2次行財政改革大綱
(平成22年12月策定)

第2次行財政改革
集中改革プラン
(平成23年3月策定)

第3次行財政改革大綱
(平成26年9月策定)

第3次行財政改革
集中改革プラン
(平成26年12月策定)

射水市行財政改革大綱（平成18年12月策定）

本市の行財政改革の指針となるもの。

基本目標

1 簡素で効率的な行財政運営の推進

健全財政の推進
公共施設の統廃合の推進
指定管理者制度の有効活用

事務事業の整理合理化
民間活力の導入
公営企業の経営健全化

2 市民サービスの効率化等

手続の簡素化等による市民負担の軽減
電子市役所等サービスの拡充及び人にやさしい行政の推進
環境に配慮した行政運営の推進

3 人事・給与の適正化及び組織の活性化

人事管理及び定員の適正化
組織の見直し
公正かつ客観的な人事評価システムの構築
外郭団体の組織・経営の見直し

給与等の適正化及び市民に対する公表
多様な雇用形態の活用
職員の意識改革と人材育成の推進

4 説明責任・情報公開及び透明性の向上

審査会等会議の公開
行政の説明責任

苦情等への責任ある対応
監査機能の充実

5 市民と行政の協働で築く地域社会の創造

市民と行政の相互連携の強化

市民活動の支援による協働の推進

射水市行財政改革集中改革プラン（平成19年2月策定）

大綱に基づく取組を具体的に示したもの

推進期間：平成18年度～22年度

具体的施策：38施策

射水市行財政改革集中改革プランの主な実績

収支改善額

約19億円

収支改善目標は掲げていない

達成及び収支改善効果のあった主な取組内容

- ・職員数の削減（146名（16.7%）減、約10億6,731万円減） 消防・病院を除く
- ・市単独補助金の見直し（225件、約2億4,430万円減）
- ・クリーンピア射水の長期包括業務委託（約7,249万円節減） 直営との比較
- ・保育園4園、児童館1館の民営化
- ・指定管理者制度の導入（38施設導入、約2億1,344万円節減） 直営との比較
- ・ネーミングライツ（施設命名権制度）の導入（5施設導入、2,373万円増）
- ・有料広告事業の展開（8媒体導入、約897万円増）
- ・その他
事務事業評価制度の導入、人事評価制度の導入、職員提案制度の導入、インターネット公売の実施、市税等のコンビニ・クレジットカード納付の導入、地域振興会への事業移管、射水市版事業仕分けの実施 など

第2次射水市行財政改革大綱（平成22年12月策定）

更なる行財政改革に取り組むための方向性を示すもの。

方向性

財政規律の堅持と創意工夫を生かした分権型社会に適応した自主性・自律性の高い行政運営の実現

基本方針

1 健全な財政運営の推進

事務事業の総点検
公営企業の経営健全化

公共施設の見直し
自主財源の確保及び創出

2 市民の目線に立った質の高いサービスの提供

効果的な市民サービスの提供
市民との協働によるまちづくりの推進

電子市役所の推進
民間活力の更なる活用

3 地方分権に対応する組織力の向上

職員の能力向上及び意識改革
効率的な組織体制の構築

職員定数の見直し及び給与の適正化

4 透明で公正な市政の推進

市政情報の積極的な提供

市民から信頼される市政の推進

第2次射水市行財政改革集中改革プラン（平成23年3月策定）

第2次大綱に掲げた取組を着実に実行するため、**具体的な数値目標**を盛り込んで示した
第2次大綱の**実施計画**にあたるもの

推進期間：平成23年度～25年度 第2次総合計画の策定に伴い5年間から3年間に改定

収支改善目標額：**10億円** 策定時の普通交付税減額見込額（約19億円）の約2分の1

具体的取組数：**118項目**

進行管理：取組の追加・修正等（改訂版の作成）、**進捗**状況の公表（実績報告書の作成） 毎年度

第2次射水市行財政改革集中改革プランの主な実績

収支改善額 約8億4千万円 達成率**83.9%**（10億円中）

取組内容 **43**取組達成 達成率**36.4%**（118取組中）

達成及び収支改善効果のあった主な取組内容

- ・市単独補助金・委託料等の見直し（**124**件、**1億2,065万円**節減）
- ・公共施設の見直し（**14**施設、約**7,356万円**節減）
- ・新たな有料広告の掲載・手数料収入の確保（約**284万円**増収）
- ・指定管理者制度の導入（約**1,483万円**節減）
- ・学校給食調理業務の民間委託（約**5,468万円**削減）
- ・長期包括業務委託契約の更新（約**1億3,080万円**節減） 直営に戻した場合との比較
- ・職員給与等の適正化（**80**名減、約**4億3,032万円**削減） 消防・病院を除く

改善額に含めない効果額 一時的な歳入増（ふるさと射水応援寄附等 **2億9,893万円**）
後年度の負担軽減（市債の繰上償還 **4,138万円**）

第3次射水市行財政改革大綱 (平成26年9月策定)

第2次射水市総合計画を支える計画のひとつとして、
更なる行財政改革に取り組むための方向性を示すもの

目標

本市の規模に見合った健全で持続可能な行財政基盤の確立

視点

経営的な視点に立った『量』の改革と『質』の改革の両立

基本方針

1 経営的な視点に立った行財政運営

事務事業の効率化・適正化
民間活力の更なる活用
自主財源の確保及び創出

公共施設マネジメントの構築
公営企業の経営健全化
資産・債務の適正管理

2 市政の透明性の向上と質を重視した市民サービスの提供

市政情報の積極的な提供
効果的な市民サービスの提供

市民との協働によるまちづくりの充実
ICT(情報通信技術)の有効活用

3 職員力の強化と組織力の向上

職員の能力向上及び意識改革
職員定数の見直し及び給与の適正化

効率的な組織体制の構築

第3次射水市行財政改革集中改革プラン（平成26年12月策定）

第3次大綱に掲げた取組を着実に実行するため、**具体的な数値目標**を盛り込んで示した

第3次大綱の**実施計画**にあたるもの

推進期間：平成26年度～30年度

収支改善目標額：**8.4億円** 推進期間中に中長期財政計画で見越している行革効果額 + 推進期間中の基金取崩額

具体的取組数：**142項目**

進行管理：取組の追加・修正等（改訂版の作成）、**進捗**状況の公表（実績報告書の作成） 毎年度

第3次射水市行財政改革集中改革プランの主な実績

収支改善額 約**6億円** 達成率**71.7%**（8.4億円中）

取組内容 **86**取組達成 達成率**60.6%**（142取組中）

達成及び収支改善効果のあった主な取組内容

- ・市単独補助金・委託料等の見直し（**74**件、**8,654万円**節減）
- ・公共施設の見直し（**26**施設、約**8,937万円**節減）
- ・新たな有料広告の掲載・手数料収入の確保（約**94万円**増収）
- ・電算システムの更新（約**9,345万円**節減）
- ・市民病院給食調理業務、不燃・粗大ゴミ処理業務の民間委託（約**3,406万円**削減）
- ・野手埋立処分所の長期包括業務委託契約（約**1,369万円**節減）
- ・職員給与等の適正化（**33**名減、約**2億3,394万円**削減） 消防・病院を除く

改善額に含めない効果額 一時的な歳入増（ふるさと射水応援寄附等 **12億3,571万円**）
後年度の負担軽減（市債の繰上償還 **2億6,521万円**）